

Ⅱ-(1)「知」を育む(研究の推進)

①技術革新の源泉となる独創的な研究開発の推進		
31	事業名	京都発実用化研究開発支援事業
	事業年度	平成19年度～
	目的・概要	「知的クラスター創成事業」及び「地域結集型共同研究事業」の研究過程において生み出された当初の目標とは異なる新分野への活用可能性がある成果について、その技術の優位性や市場性等を検証するFS調査(実現可能性調査)を実施し、新事業の創出を支援する。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
32 (4)	事業名	《再掲》京都環境ナノクラスター
	事業年度	平成20年度～
	目的・概要	これまでの「知的クラスター創成事業」の成果を踏まえ、地域の自立化を促進しつつ、「選択と集中の視点」で世界レベルのクラスターの形成を図る。 京都地域においては、第Ⅰ期事業に引き続き、ナノテクノロジーを基盤核技術に位置付け、環境分野に貢献する高機能製品の開発を通じて、地域産業科学技術の振興を図る「京都環境ナノクラスター」の形成に向けた取組を推進する。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
33 (10)	事業名	《再掲》分子イメージングの研究開発事業(経済産業省事業の採択)
	事業年度	【21年度終了】平成18～21年度
	目的・概要	京都大学を拠点に、平成18年8月から独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成事業「悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発」が開始。 本プロジェクトでは「悪性腫瘍等の診断と治療支援」のための分子イメージングに重点を置き、臨床において役に立つ分子イメージング診断・治療支援技術の確立を目指す。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
34 (14) (27)	事業名	《再掲》知恵産業融合センター推進事業
	事業年度	平成20年度～
	目的・概要	京都商工会議所等と連携し、京都における知恵産業創造の具体的振興方策を検討するとともに、伝統産業と先端産業の融合を図り、新たな京都ブランドの創出と人材育成を行う「知恵産業融合センター」を創設する。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
②中小企業等の活性化につながる研究開発の支援		
35 (76)	事業名	京都市産業技術研究所の機能強化
	事業年度	平成17～22年度
	目的・概要	産学公が連携した産業振興施策を積極的に推進し「ものづくり都市・京都」の活性化を図るため、工業技術センターと繊維技術センターの立地的統合により、産業技術支援の核となる京都市産業技術研究所の機能強化を図る。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター (http://www.kmir.city.kyoto.jp/)
36 (54)	事業名	戦略的基盤技術高度化支援事業(情報電子デバイス高度化及び環境調和型新規Cu6Sn5金属間化合物スキャラム合金めっきの開発)
	事業年度	【21年度終了】平成18～21年度
	目的・概要	(独)中小企業基盤整備機構が公募する研究開発事業に応募し、採択を受けて実施。 管理法人は(財)京都高度技術研究所 研究体制は、京都市のほか、京都大学及び民間企業4社 情報電子デバイスのはんだ付け性・耐ウイスカ性及び低接触抵抗の高度化を測り、また、RoHS・ELV指令規制物質の6価クロムを使用しない環境調和型新規合金めっきプロセスの事業化を目指す。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター (http://www.kmir.city.kyoto.jp/)
37 (22) (55)	事業名	《再掲》地域資源活用型研究開発事業(業界初の食洗器に対応した高級色絵磁器の開発)
	事業年度	【20年度終了】平成19～20年度
	目的・概要	京焼・清水焼の「原料・釉薬の配分及び焼成に係る技術・技法」という地域の強み(知的資産)に、粉末射出成形技術と釉薬の無鉛化技術を融合させ、食洗機に対応した繊細で色鮮やかな高級色絵磁器の製品化・事業化を図る。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター (http://www.kmir.city.kyoto.jp/)

《続き》②中小企業等の活性化につながる研究開発の支援		
38	事業名	地域新生コンソーシアム研究開発事業(オミックス解析技術による新規代謝動態解析装置の開発研究)
	事業年度	【19年度終了】平成18～19年度
	目的・概要	ゲノムベースでのSNPs測定・診断をタンパク質代謝レベルで行い、臨床検査、創薬、治療などに応用展開するために不可欠な解析技術を開発し、オーダーメイド医療を目指した分析となる新たなタンパク機能解析装置として、研究開発領域に普及を図るために計測システムを開発する。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター (http://www.kmir.city.kyoto.jp/)
39	事業名	大学発事業創出実用化研究開発事業(変性バイオマスマノファイバーの製造及び複合化技術開発研究)
	事業年度	【21年度終了】平成19～21年度
	目的・概要	京都大学生存圏研究所、京都市産業技術研究所工業技術センター等において、効率の良い植物ナノ繊維化技術が開発され、鋼鉄のように強い、繊維強化材料や射出成形可能な高植物度ナノコンポジット等、構造材料としての優れた特徴が見出されている。本事業では、これらに新たな京都大学シーズ技術を加え、ポリプロピレン、不飽和ポリエステル樹脂、エポキシ樹脂及びゴム材料との複合化に優れた変性バイオナノファイバーの製造及びその複合技術の実用化研究開発を行う。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター (http://www.kmir.city.kyoto.jp/)
40 (23) (56)	事業名	《再掲》知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)(省資源・代替材料の創成・環境調和型ナノめっき技術による希少金属代替高度部材の創製)
	事業年度	平成20～24年度
	目的・概要	資源領域・産業資源分野の中で省資源・代替材料の創成を目的として研究開発を実施する。大量の資源を消費している生産現場に注目し、多様な部品で構成される製品の使用材を如何に少量にしていくか、IT部品等の高機能化に必須である希少金属の代替材料を如何に確保していくか、また環境に配慮した製品や生産現場を如何に構築していくかの観点から、ものづくり基盤のめっき技術である「環境ナノめっきプロセス」により、ニッケルの大幅な使用量削減と情報通信デバイス等の高度部材の創製に必要な新規表面プロセスの開発を行う。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター (http://www.kmir.city.kyoto.jp/)
41 (24) (57)	事業名	《再掲》地域イノベーション省出研究開発事業・農商工連携枠(麹糖化技術の革新による新規天然食品原料の開発)
	事業年度	【21年度終了】平成20～21年度
	目的・概要	伝統的甘口清酒製造法をベースに、新たなバイオ計測技術を構築した上で、麹による酵素糖化技術を革新することで、新たな新用途米を原料とした従来にない新規天然糖化食品原料を開発し、本原料を用いてバランス栄養飲料市場をターゲットとする新たな天然糖化飲料並びに新規和菓子等への製品化、事業化へと繋げる
	担当課	産業技術研究所工業技術センター (http://www.kmir.city.kyoto.jp/)
42 (25) (58)	事業名	《再掲》「中小・ベンチャー企業の検査・計測機器等の調達に向けた実装研究事業」(「産業技術研究開発事業」)
	事業年度	【21年度終了】平成21年度
	目的・概要	平成16-17年度地域新生コンソーシアムで開発した技術シーズを基に継続研究を行い製品化開発を行っており、タンパク質資料調整のための抽出、可溶化キット群及び電気泳動装置の製品化を目的とする。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター (http://www.kmir.city.kyoto.jp/)
43 (26) (59)	事業名	《再掲》地域資源活用型研究開発事業(京友禅と西陣織の融合によるマルチシーン対応型バックの研究開発)
	事業年度	【21年度終了】平成20～21年度
	目的・概要	京都の代表的な伝統産業の京友禅西陣織とが有する二大技術・ブランドを初めて融合化し、さらに京袋物の製造ノウハウと販売ルート、着物の風合い・撥水加工技術という京都の繊維産業の強みを総動員させるとともに、新しい機能性素材を用いて、機能性と意匠性を両立させたマルチシーン型のバッグを開発・事業化する。
	担当課	産業技術研究所繊維技術センター (http://www.ktri.city.kyoto.jp/)

Ⅱ-(2)「知」を育む(人材の育成)

①多様な人材が活躍できる環境の整備		
44 (63)	事業名	CSRセミナーの開催
	事業年度	【18年度終了】平成18年度
	目的・概要	技術開発型中小・ベンチャー企業を対象に、「企業の社会的責任」を考えるセミナーを(独)中小企業基盤整備機構等と共同で開催し、社会から信頼を得るための人材の育成を図る。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
45 (64)	事業名	地域再生人材創出拠点の形成(文部科学省事業)
	事業年度	平成18~22年度
	目的・概要	伝統技能を基にしたイノベーションの企画・推進の中核者として期待されている後継者、若手及び大学院生を対象に、伝統技能に内在している暗黙知を形式知化した新技術を発掘・開発し、それを活用し、新たなイノベーションを創出する人材の育成を図る。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
②科学技術に触れる身近な機会の提供		
46 (29)	事業名	《再掲》市民向け科学技術講座
	事業年度	【20年度終了】平成19年度~20年度
	目的・概要	知的クラスター創成事業や京都バイオシティ構想事業等、京都市が推進している産学公連携プロジェクトを中心に、科学技術の振興が市民生活の様々な分野でどのように活用されるのかを市民に発信し、科学技術の市民理解・啓発を推進する。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)

Ⅱ-(3)「技」を磨く(ベンチャー・中小企業の支援)

①ベンチャー企業等の事業化促進		
47	事業名	京都市ベンチャー企業目利き委員会
	事業年度	平成9年度~
	目的・概要	次代の京都経済をリードするベンチャー企業を発掘し、育成するため、年3回委員会を開催し、応募された事業プランの事業性、技術、アイデアや起業家としての人物評価を行う委員会を開催する。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
48 (60)	事業名	地域プラットフォーム事業
	事業年度	平成11年度~
	目的・概要	京都市域の産業資源を有効に活用し、地域産業の自立的発展を促す事業環境を整備することにより、新事業の創出を促進し、京都経済の新たな展開と活性化を図る。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
49	事業名	ベンチャービジネス育成(VIL)助成
	事業年度	平成元年度~
	目的・概要	スタートアップ期のベンチャー企業を育成・支援することを目的に、スタートアップ期の研究開発型企業を対象に、研究開発スペースの貸与や、各種支援サービスを提供する、財団法人京都高度技術研究所のVIL事業に対して、入居者の賃料の一部を負担する形で助成する。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)

《続き》①ベンチャー企業等の事業化促進		
50	事業名	京都市創業支援工場（VIF）管理運営
	事業年度	平成11年度～
	目的・概要	スタートアップ期のベンチャー企業を育成・支援することを目的に、独創的で将来性のある技術やアイデアを有するベンチャー企業に対し、作業場と事務スペースからなる工場施設を貸与し、各種支援サービスを実施。
	担当課	産業観光局産業振興室（ http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html ）
51	事業名	京大桂ベンチャープラザ（北館）（南館）支援事業
	事業年度	平成16年度～
	目的・概要	（北館） （独）中小企業基盤整備機構事業 「大学発ベンチャー」をはじめとする成長初期の企業を支援する賃貸型起業家育成施設 本市の支援：①入居者への賃料補助 ②入居者支援人材の配置 （南館） （独）中小企業基盤整備機構事業 主に成長中期以降の企業の成長加速を支援する賃貸型起業家育成施設。 本市の支援：①入居者への賃料補助 ②入居者支援人材の配置
	担当課	産業観光局産業振興室（ http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html ）
52 (9)	事業名	《再掲》クリエイション・コア京都御車支援事業
	事業年度	平成16年度～
	目的・概要	「クリエイション・コア京都御車」は（独）中小企業基盤整備機構による新事業創出型事業施設整備事業として整備された施設であり、新事業に果敢に挑戦する起業家やベンチャー・中小企業に対し、事業所を提供するものである。京都府、京都大学をはじめとした大学、（財）京都高度技術研究所をはじめとした地域の産業支援機関等と連携し、入居者の育成支援を積極的に実施することにより、ライフサイエンス分野における大学発ベンチャーの創出や新事業創出に努めていく。 ○本市支援 ・入居者支援人材の配置 ・入居者への賃料補助
	担当課	産業観光局産業振興室（ http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html ）
53	事業名	ベンチャー企業等ステップアップ支援事業
	事業年度	平成21年度～
	目的・概要	公的インキュベート施設退去企業の市外移転防止及びベンチャー企業等の育成支援を目的とする事業。 公的インキュベート施設入居企業の中から将来性ある有望なベンチャー企業等を選定し、本市の産業振興拠点の一つであり、民間初のサイエンスパークとしてインキュベート施設入居企業への支援実績を持つ京都市リサーチパークへの企業集積を図る。 本市は入居企業への賃料補助を行い、京都市リサーチパーク（株）から本市と同等の賃料負担及び企業支援に係る豊富なノウハウを有する支援人材による企業サポート、（独）中小企業基盤整備機構から公的インキュベート施設退去企業の情報提供及び京都市リサーチパークへの立地誘導、（株）日本政策金融公庫から金融支援等の協力を得て、4者が協働した支援を行う。
	担当課	産業観光局産業振興室（ http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html ）

②ものづくりを支える中小企業の技術力向上への支援		
54 (36)	事業名	《再掲》戦略的基盤技術高度化支援事業（情報電子デバイス高度化及び環境調和型新規Cu6Sn5金属間化合物スフェラム合金めっきの開発）
	事業年度	【21年度終了】平成18～21年度
	目的・概要	（独）中小企業基盤整備機構が公募する研究開発事業に応募し、採択を受けて実施。 管理法人は（財）京都高度技術研究所 研究体制は、京都市のほか、京都大学及び民間企業4社 情報電子デバイスのはんだ付け性・耐ウイスカ性及び低接触抵抗の高度化を測り、また、RoHS・ELV指令規制物質の6価クロムを使用しない環境調和型新規合金めっきプロセスの事業化を目指す。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター（ http://www.kmir.city.kyoto.jp/ ）
55 (22) (37)	事業名	《再掲》地域資源活用型研究開発事業（業界初の食洗機に対応した高級色絵磁器の開発）
	事業年度	【19年度終了】平成19～20年度
	目的・概要	京焼・清水焼の「原料・釉薬の配分及び焼成に係る技術・技法」という地域の強み（知的資産）に、粉末射出成形技術と釉薬の無鉛化技術を融合させ、食洗機に対応した繊細で色鮮やかな高級色絵磁器の製品化・事業化を図る。
担当課	産業技術研究所工業技術センター（ http://www.kmir.city.kyoto.jp/ ）	
56 (23) (40)	事業名	《再掲》知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）（省資源・代替材料の創成・環境調和型ナノめっき技術による希少金属代替高度部材の創製）
	事業年度	平成20～24年度
	目的・概要	資源領域・産業資源分野の中で省資源・代替材料の創成を目的として研究開発を実施する。大量の資源を消費している生産現場に注目し、多様な部品で構成される製品の使用材を如何に少量にしていくか、IT部品等の高機能化に必須である希少金属の代替材料を如何に確保していくか、また環境に配慮した製品や生産現場を如何に構築していくかの観点から、ものづくり基盤のめっき技術である「環境ナノめっきプロセス」により、ニッケルの大幅な使用量削減と情報通信デバイス等の高度部材の創製に必要な新規表面プロセスの開発を行う。
担当課	産業技術研究所工業技術センター（ http://www.kmir.city.kyoto.jp/ ）	
57 (24) (41)	事業名	《再掲》地域イノベーション省出研究開発事業・農商工連携枠（麴糖化技術の革新による新規天然食品原料の開発）
	事業年度	【21年度終了】平成20～21年度
	目的・概要	伝統的甘口清酒製造法をベースに、新たなバイオ計測技術を構築した上で、麴による酵素糖化技術を革新することで、新たな新用途米を原料とした従来にない新規天然糖化食品原料を開発し、本原料を用いてバランス栄養飲料市場をターゲットとする新たな天然糖化飲料並びに新規和菓子等への製品化、事業化へと繋げる
担当課	産業技術研究所工業技術センター（ http://www.kmir.city.kyoto.jp/ ）	
58 (25) (42)	事業名	《再掲》「中小・ベンチャー企業の検査・計測機器等の調達に向けた実装研究事業」（「産業技術研究開発事業」）
	事業年度	【21年度終了】平成21年度～
	目的・概要	平成16-17年度地域新生コンソーシアムで開発した技術シーズを基に継続研究を行い製品化開発を行っており、タンパク質資料調整のための抽出、可溶性キット群及び電気泳動装置の製品化を目的とする。
担当課	産業技術研究所工業技術センター（ http://www.kmir.city.kyoto.jp/ ）	
59 (26) (43)	事業名	《再掲》地域資源活用型研究開発事業（京友禅と西陣織の融合によるマルチシーン対応型バックの研究開発）
	事業年度	【21年度終了】平成20～21年度
	目的・概要	京都の代表的な伝統産業の京友禅西陣織とが有する二大技術・ブランドを初めて融合化し、さらに京袋物の製造ノウハウと販売ルート、着物の風合い・撥水加工技術という京都の繊維産業の強みを総動員させるとともに、新しい機能性素材を用いて、機能性と意匠性を両立させたマルチシーン型のバックを開発・事業化する。
担当課	産業技術研究所繊維技術センター（ http://www.ktri.city.kyoto.jp/ ）	

Ⅱ-(4)「技」を磨く人材の育成

①実践的な取り組みを志向した起業家等の養成		
60 (48)	事業名	《再掲》地域プラットフォーム事業
	事業年度	平成11年度～
	目的・概要	京都市域の産業資源を有効に活用し、地域産業の自立的発展を促す事業環境を整備することにより、新事業の創出を促進し、京都経済の新たな展開と活性化を図る。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
61	事業名	京都市学生シティ・ファイナンスパーク事業
	事業年度	平成18年度～
	目的・概要	勤労観・職業観を育む「キャリア教育」の充実・推進を図るため、銀行や商店等からなる「街」を再現し、小学生が売買の直接体験を通して自分と地域社会との関わりを体験する「学生シティ」や、税金・保険をはじめ食費や光熱費など生活に必要な費用の試算等の体験を通して自らの生き方に繋がる生活設計能力等を育成する「ファイナンスパーク」を平成19年1月、元滋野中学校に開設。 ※「学生シティ・ファイナンスパーク運営推進委員会」（委員長 平井義久（株）西利代表取締役会長）を平成18年3月に設置し、事業を展開する。
	担当課	教育委員会 京都まなびの街 生き方探求館
62	事業名	伏見工業高校のデュアルシステムの導入
	事業年度	平成19年度～
	目的・概要	将来の産業界を担う若者の育成を目指して、企業の優れた技術力・人材育成力と学校教育を組み合わせた新しい工業教育(京都版デュアルシステム)を行う「キャリア実践コース」を設置。
	担当課	教育委員会指導部学校指導課 (http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-2-9-0-0.html)
②社会から信頼を得るための人材の育成		
63 (44)	事業名	《再掲》CSRセミナーの開催
	事業年度	【18年度終了】平成18年度
	目的・概要	技術開発型中小・ベンチャー企業を対象に、「企業の社会的責任」を考えるセミナーを(独)中小企業基盤整備機構等と共同で開催し、社会から信頼を得るための人材の育成を図る。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
③製造現場で中核となる人材の育成		
64 (45)	事業名	《再掲》地域再生人材創出拠点の形成(文部科学省事業の採択)
	事業年度	平成18～22年度
	目的・概要	伝統技能を基にしたイノベーションの企画・推進の中核者として期待されている後継者、若手及び大学院生を対象に、伝統技能に内在している暗黙知を形式知化した新技術を発掘・開発し、それを活用し、新たなイノベーションを創出する人材の育成を図る。
	担当課	産業観光局産業振興室 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html)
65	事業名	京都市伝統産業技術後継者育成制度
	事業年度	昭和41年度～
	目的・概要	後継者の確保が著しく困難な本市の伝統産業に従事している者に対し、育英資金及び育成資金を交付し、もって技術後継者の確保とその養成を図り、伝統産業の育成発展に資する。
	担当課	産業観光局商工部伝統産業課 (http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-5-0-0.html)
66	事業名	京都市伝統産業技術者研修による伝統産業技術後継者の育成
	事業年度	昭和41年度～
	目的・概要	京都市の地場産業の中で大きなウェートを占める伝統産業は、高度な技術の伝承が産業を支えるという、一般地場産業とは異なる体質を有しており、このため継承者不足が深刻化している。本市における伝統産業に従事する者に対して研修制度を実施することにより、優秀な後継者の育成を図り、伝統産業の振興及び発展に資する。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター (http://www.kmir.city.kyoto.jp/)
67	事業名	京都市中小企業技術者研修・京都市伝統産業技術者研修による伝統産業技術後継者の育成(みやこ技塾)
	事業年度	昭和31年度～
	目的・概要	京都の伝統産業は高度な技術に支えられていることから、伝統産業の発展のためには継承者の養成が不可欠である。 優れた技術を有する人材を生み出す研修全体の愛称を「みやこ技塾」と称し、技術力の向上を図ることにより伝統産業の振興及び発展に資する。
	担当課	産業技術研究所繊維技術センター (http://www.ktri.city.kyoto.jp/)

《続き》③製造現場で中核となる人材の育成		
68	事業名	ものづくり企業技術者の研究開発能力の向上のための研修
	事業年度	平成2年度～
	目的・概要	企業研究能力開発研修（ORT）により、企業から技術者を受け入れ、センター研究員と共同で試験研究を行うことにより、企業技術者の研究能力の向上と製品開発のノウハウの習得を図る。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター（ http://www.kmir.city.kyoto.jp/ ）
69	事業名	JST地域イノベーション創出総合支援事業（シーズ発掘試験，地域ニーズ即応型）
	事業年度	採択された年度限り
	目的・概要	全国に展開している研究成果活用プラザやJSTサテライトを拠点として、シーズの発掘から実用化までの研究開発を切れ目なく行うことにより、地域におけるイノベーションの創出を総合的に支援する。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター（ http://www.kmir.city.kyoto.jp/ ）
70	事業名	「産技研釉薬」の技術移転・実用化開発事業
	事業年度	平成21年度～
	目的・概要	京焼・清水焼業界の活性化の目的から、京都市産業技術研究所工業技術センターが保有する釉薬・素地・焼成のノウハウを陶磁器業界に技術移転を行い、今後の製品開発の支援を行う。
	担当課	産業技術研究所工業技術センター（ http://www.kmir.city.kyoto.jp/ ）
71	事業名	京都こどもモノづくり事業
	事業年度	平成19年度～
	目的・概要	「ものづくり都市・京都」の特性を生かし、産学公連携のもと、「京少年モノづくり倶楽部」，「至高の動くおもちゃづくりグランプリ全国大会」，平成21年2月に生き方探究館内に開設した京都の企業創業者・科学者等の業績等を展示する「京都モノづくりの殿堂・工房」などの事業を通じて、小中学生がモノづくりを学び・体験する機会を創出していく。 ※「京都こどもものづくり事業推進委員会」（委員長 松重和美 京都大学副学長）を平成19年4月に設置し、事業を展開する。
	担当課	教育委員会学校指導課（ http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-2-9-0-0.html ）

Ⅱ-（5）「技」を磨く〈知的財産の活用〉

①京都市知的財産戦略の策定		
72	事業名	知的財産流通に係る企業マッチング事業
	事業年度	【20年度終了】平成19年度～20年度
	目的・概要	京都地域の大企業等が保有する未利用特許を地域の中小・ベンチャー企業が活用し、効率的に製品開発を行えるよう、特許流通の新たな仕組みを構築を図り、新事業の創出を支援する。
	担当課	産業観光局産業振興室（ http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html ）
73	事業名	中小企業知的財産活用強化プログラム
	事業年度	平成20年度～
	目的・概要	京都地域に多数存在している高度な技術やオンリーワン技術を有する中小・ベンチャー企業を対象に、知的財産に係る勉強会を開催し、知的財産スキルの向上を図る。
	担当課	産業観光局産業振興室（ http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html ）
74	事業名	京都市知財戦略支援フォローアップ事業
	事業年度	平成21年度～
	目的・概要	京都市地域中小企業知財戦略コンサルティング事業（国の事業）を実施した企業を対象に、策定された知財戦略の推進状況の確認や作成された資料の見直しなどの知財戦略支援のフォローアップを市単費で実施（専門家謝金等支援実施費用の2/3を補助。）。
	担当課	産業観光局産業振興室（ http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-6-0-0-0.html ）